

会員数 60名 出席者42名・欠席者17名・免除会員3名
欠 席 者 秋山恒・麻田・後藤・飯間・和泉享・岸上・小山・松山・中川・竹中
中野昌・野口・大西和・尾崎・高岡・竹内一・横田・会員

前々回出席率 84.21%(10/11)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 川原 一夫
幹 事 福田 洋子
会報委員長 岡田 将一郎

お知らせ

- 10月のプログラム
4 (No.1)-客話
11 (No.2)-会員卓話
18 (No.3)-会員卓話
25 (No.4)-クラブフォーラム

- 他RC例会変更
丸亀東 10/9 職場例会
10/23 夜間例会
坂出東 10/24 松茸夜間例会
善通寺 10/31 移動例会

- ニコニコBOX;
よいことがありました
橘君 秋山憲夫君
ナトマリズインニエー様を
お迎えして
塩田君 齋賀君

<ニコニコ会計累積/¥165,623>

- がんばるBOX;
前回の卓話最後まで聞いて
いただきありがとうございました
今後とも頑張ります
古川君
ナトマリズインニエー様の卓話
を聞いて
川原君 福田君

<がんばる会計累積/¥154,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

■会長挨拶

まんぷく

「まんぷく」というタイトルには3つの意味があります。「満腹」おなかがいっぱいに満たしたい。「萬福」主人公夫婦の名前、萬平と福子の頭文字を取り、夫婦の絆。「万福」幸せに満ち溢れている。

安藤百福:台湾出身の日本の実業家 日清食品創業者

戦後の日本を代表する発明家、企業家、経営者で、インスタントラーメンが有名ですが、20世紀最大の発明と言われています。戦後の窮乏の時代に考えたのがチキンラーメンであり、48歳の時です。『昭和天皇』:インスタントラーメンをテレビのCMで見て、どうしても食べたくて侍従に頼んだけど却下されて、SPかなんかに頼み込んで買ってきてもらったラーメンを食べようとしたら、匂いかなんかで侍従にバレて取り上げられた。即席めん開発25周年のパーティで、自分の心情を言葉にしたいと思い、ひらめいたのが、「食足世平」(食足りて世は平らか)です。私は戦後の窮乏の時代に食の大切さに目覚めた。人間は欲の深い生き物だが、特に食に対する欲望は果てしなく深い。食べるものがないということは、ほかに比較がないほどの苦しみである。食が足りてこそ人は心安らかになり、食が足りないと争いが絶えない。食の仕事は「聖職」であり、それに携わる人は、平和の使者だという思いを伝えたかったのである。食が足りてこそ、平和になる。胸に刻む四字だと思いました。

■幹事報告

- 10月27日28日、地区大会が新居浜であります。
参加の方は集合場所に遅れないようにお願いします。
- クールビズでの例会は本日までです。
次週例会よりネクタイ着用をお願いします。
- 11月15日のガバナー補佐公式訪問、クラブアッセンブリーの案内を出しています。委員長は参加と発表をお願いします。

■例会事業;クラブフォーラム;米山記念奨学委員会

米山奨学生卓話;ナトマリズインニエー様
プロフィール

出身地 ミャンマー ヤンゴン

1986年1月生まれ 32歳

両親と姉妹私の5人家族

ミャンマーにおいて 基礎的日本語を学習後

2009年 京都民際日本語学校で日本語を学ぶ

2011年 京都ノートルダム女子大学社会福祉学部入学

2015年 同校卒業

ミャンマーに帰国するが、社会福祉関係の仕事に就けず、日本企業で通訳となる



(裏へ続く)

2018.10.25

Vol.56

No16

(2727)

2016年 再び来日

香川大学の研究生となり、日本の看護・介護・社会福祉について
基礎的な事を学ぶ

2017年 同大学院医学系研究科修士課程入学

「介護技能実習生に関する役割認識—ミャンマーでの日本語を学ぶ人たち
ら—」というテーマで研究に取り組んでいます

ミャンマーでも、少子高齢化が問題となりつつあります。そこで、世界一の少子高齢化社会である日本において、ミャンマーの人々が介護福祉を学び、その技術を持ち帰り今後のミャンマーにおける高齢化に向けて活かすことが求められると思います。

将来、ミャンマーの介護技能実習生が、日本に派遣された時、それを学ぶ学生が、なぜ介護技能実習生になろうとするのか、役割をどのように認識しているのかを明らかにするのが私の研究の目的でもあります。これにより、学生の認識を知り、ミャンマーでの準備としてミャンマー介護実習生に対する教育支援の基礎的資料を作りたいと考えています。

今後とも、いろいろなロータリークラブの例会や活動にも参加させていただきながら、ロータリークラブの考え方や活動などを体験したいと願っています。

また、大学院では勉強も頑張って、修士論文の完成に向かって研究に集中して、良い研究成果を残していきたいと考えています。これからもお世話になりますがどうぞよろしくお願いいたします。